

授業と評価の年間計画

教科	地理歴史	科目	世界史 A	
履修条件 対象生徒	必修 普通科（理型）・理数科 2年			
学習計画	近現代史を中心とする世界の歴史を、我が国の歴史と関連付けながら理解し、人類の課題を多角的に考察することによって、歴史的思考力を培う。			
学習方法	<p>【授業】 教科書(帝国書院)で授業を展開する。歴史は暗記科目と言われているが、単に歴史用語や歴史事象の暗記に陥るのではなく、歴史の流れと歴史事象の双方を理解することが大切である。</p> <p>【家庭、補習・その他】 教科書の授業範囲を読んで、歴史用語や歴史事象を覚えることは当然だが、歴史の大まかな流れと歴史的な背景、原因と結果についても理解を深めておくことが重要である。</p>			
学習計画 と ね ら い	<p>1 1学期</p> <p>(1)中間考査まで ア 世界史へのいざない イ 前近代の諸文明 (ア)東アジア文明 (イ)南アジア・東南アジア文明</p> <p>(2)期末考査まで ア 前近代の諸文明 (ア)西アジア・北アフリカの文明 (イ)ヨーロッパの文明 (ウ)南北アメリカの文明</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・風土、民族、宗教について考察し、ユーラシア大陸を中心に形成された諸地域の特質を把握する。 ・ユーラシアの諸地域相互の交流について考察し、世界の一体化につながる交流圏の成立を理解する。 	
	<p>2 2学期</p> <p>(1)中間考査まで ア 一体化に向かう世界 (ア)繁栄するアジア (イ)大航海時代と新たな国家の形成</p> <p>(2)期末考査まで ア 欧米の工業化とアジア諸国の動揺 (ア)ヨーロッパとアメリカの諸革命 (イ)自由主義・ナショナリズムの進展 (ウ)アジア諸国の動揺 (エ)東アジアの大変動</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・16世紀以降の世界商業の発展と産業革命後の資本主義の確立を中心に、世界の一体化の過程を理解する。 ・産業革命や市民革命による自由主義と国民主義の進展、欧米における資本主義の確立と国民形成を理解する。 	
	<p>3 3学期</p> <p>(1)学年末考査まで ア 現代社会の芽生えと世界大戦 (ア)現在につながる社会の形成 (イ)第一次世界大戦がもたらしたもの (ウ)民族自決を求めて (エ)経済危機から第二次世界大戦へ イ 冷戦から地球社会へ (ア)冷たい戦争の時代 (イ)冷戦終結への道のり (ウ)地球社会への歩み (エ)持続可能な社会をめざして</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・欧米によるアジア諸国の植民地化や従属化の過程におけるアジアの抵抗と挫折、伝統文化の変容、その中での日本の対応を学び、19世紀の世界の一体化とその特質を理解する。 ・地球規模で一体化した現代世界の特質と展開過程を理解し、人類の課題について考察する。その際、世界の動向と日本とのかかわりに着目する。 	
評価基準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	世界史への興味・関心を高め、他国や他地域の文化を理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての素養を養う。	世界の歴史の理解を踏まえて、現代の諸課題を政治、経済、社会、文化、宗教、生活など様々な観点から考察する。	世界の歴史に関する情報を収集・整理し、それらを解釈したり、表現したりする技能を養う。	近現代の歴史の流れと歴史的な事象にゆいての基本的な事柄を理解し、その知識を身につける。
評価方法	①定期考査 ②授業態度 ③課題・提出物を総合的に判断して評価する。			
その他	学習進度は状況によって若干異なる場合がある。			